

1. 件名：高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チームに関する面談（8）
2. 日時：令和5年4月24日（月）13：30～15：30
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者（※一部テレビ会議システムにて参加）：

原子力規制庁

技術基盤グループ 技術基盤課 照井課長補佐

システム安全研究部門 小嶋上席技術研究調査官

皆川副主任技術研究調査官

原子力規制部 原子力規制企画課 藤森企画調査官、今田係員

審査グループ 実用炉審査部門 塚部上席安全審査官

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー 他7名※

原子力エネルギー協議会 経年劣化知見拡充WG 委員

5. 要旨：

- 原子力事業者等から、これまでの面談において原子力規制庁より検討するよう伝達していた長期施設管理計画の検討状況について、資料に基づき説明があった。
- 原子力規制庁から、長期施設管理計画には劣化評価の方法及びその結果を記載することを法律上要求しているものであり、これまでの検討チームで示した考え方や高経年化技術評価書、審査の中で説明してきた補足説明資料の記載内容も踏まえて、検討するよう伝達した。
また、資料中に記載されている評価に用いた規格については、どの評価に用いたものか対応関係がわかるようにするとともに、評価対象を示す表については対象機器が誤解されないようにするよう伝達した。
- 原子力事業者等から、引き続き長期施設管理計画の記載について検討する旨の回答があった。

6. 配布資料

資料 長期施設管理計画（案）